

## 令和3年度 男女共同参画推進プラン 指標値報告書

基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
1-1	「男女共同参画社会」という言葉を聞いたことがあり、内容も知っている住民の割合	34.6%	—	—	—	42.9%	政策企画課
取組実績		今後の取組					
1	男女共同参画社会をはじめ、関連用語の認知度を上げるため、広報紙に連載している「男女共同参画啓発」コーナーや町公式ホームページでの発信や男女共同参画週間イベントや男女共同参画コーナーを利用して、啓発活動を行った。 (住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定)	男女共同参画に関する取り組みや関連法令について、広報紙や町公式ホームページでの発信、男女共同参画週間イベントや男女共同参画コーナーを利用して啓発活動に取り組んでいく。					
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
1-1	「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方に同感しない住民の割合	35.6%	—	—	—	44.0%	政策企画課
取組実績		今後の取組					
2	性別による固定的役割分担意識の解消のため、小中学校において、男女平等に立った人権教育の推進を図るとともに、男女共同参画の視点に立った講座などを実施した。 (住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定)	性別による固定的役割分担意識の解消のため、学校教育や地域社会等あらゆる場面において、男女共同参画の視点に立った教育や学習活動を推進していく。					
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
1-1	社会全体で男女の地位が平等になっていると思う住民の割合	12.9%	—	—	—	13.1%	政策企画課
取組実績		今後の取組					
3	男女の地位の平等の意識を育てるため、小中学校において、男女平等に立った人権教育の推進を図るとともに、行政での各種審議会等への女性の参画の促進を図った。 (住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定)	男女の地位の平等の意識を育てるため、人権教育や行政運営における取組により意識啓発活動に取り組んでいく。					
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
1-3	「DV防止法」という言葉を聞いたことがあり、内容も知っている住民の割合	60.4%	—	—	—	65.0%	政策企画課
取組実績		今後の取組					
4	配偶者や恋人など親密な関係者間での暴力に関する基礎知識を認識していただくため、広報紙や町公式ホームページ等により、DV防止法の内容やそれに係る用語についての啓発活動を行った。 (住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定)	暴力根絶に向けた意識づくりのため、広報紙や町公式ホームページでの発信、男女共同参画週間イベントや男女共同参画コーナーを利用して啓発活動に取り組んでいく。					
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
2-1	審議会などへの女性委員の登用割合	25.3%	27.5%	28.3%	30.1%	30.0%	政策企画課
取組実績		今後の取組					
5	審議会等の委員の委嘱・任命にあたっては、女性委員の構成割合が引き上げられるよう、各課へ働きかけを行った。	審議会などの政策・方針決定の場へ女性の参画を拡大するため、女性委員構成割合を引き上げたため、引き続き女性委員の積極的な登用の働きかけに努める。					

基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
2-1	町職員の管理職（係長以上）に占める女性の割合	23.1%	23.8%	28.7%	29.5%	25.0%	総務課
取組実績		今後の取組					
6	29.5%の内訳は、課長職のうち女性職員の占める割合が、11.1%、課長補佐職に占める割合は、16.0%、係長職に占める割合は、44.4%となっている。	管理職にある女性割合を高めるためには、人材育成を計画的に図ることが必要であることから、女性職員に対してリーダー研修などの研修会へ積極的に派遣させることで、管理職として必要な知識と資質を備えた女性職員の育成を図る。					
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
2-1	新たに育児休業を取得した男性職員数	0人	0人	0人	0人	1人	総務課
取組実績		今後の取組					
7	男性職員は、各年度に取得可能職員がいたため、制度説明を行い、取得の勧奨を行ったが所得までは至らなかった。ただし、令和2年4月1日より育児部分休業を取得した男性職員が1名いる。	全職員に対し、育児休業制度の周知徹底を図るとともに、取得可能職員に対し、制度概要の資料を配布するなど、今後も積極的な育児休業の取得促進に努める。					
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
2-3	自治会などの地域社会で男女の地位が平等になっていると思う住民の割合	23.7%	—	—	—	30.0%	政策企画課
取組実績		今後の取組					
8	区長等の推薦時に、女性区長等の積極的な登用の検討依頼や男女共同参画コーナーを利用して、地域社会での男女共同参画についての情報提供を行った。 (住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定)	区長会の会議等やふれあい集集バンク事業、町民参加による美化活動などを通じて、情報提供や意識啓発に取り組んでいく。					
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
3-1	国民健康保険特定健康診査受診率	47.8%	46.8%	21.3%	27.6%	60.0%	保険年金課
取組実績		今後の取組					
9	新型コロナウイルスの感染防止対策のため、集団健診は予約制により実施した。新型コロナウイルス感染拡大による受診控えなどにより、R1以前と比較すると受診率が減少している。	新型コロナウイルス感染防止の観点より、集団健診の予約制は継続していくが、コロナウイルスの感染が落ち着いてくることにより受診率の回復が見込まれる。また、受診率向上のために受診勧奨事業として健診の重要性や集団健診以外の受診方法を未受診者に対して専用の通知を用いて周知をし、目標値を達成できるように取り組んでいく。					
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
3-1	国民健康保険特定保健指導実施率	39.7%	23.4%	35.3%	18.5%	60.0%	保険年金課
取組実績		今後の取組					
10	健診結果返送の際に特定保健指導に関する通知を同封し、対象者に指導を受けるよう促しを行うとともに、未指導者となった対象者にも、再度通知を送るなど啓発を実施した。	保健指導対象者の受診意識の低下が見られるので、対象者に対して、生活習慣病等の早期改善・治療の重要性など、利用の動機を高められるような、利用勧奨を検討し、実施率の向上に取り組んでいく。具体的な取り組みは、特定健診の結果を元に数値が良くない方に対して送付しているチラシの内容を改善したり、電話案内を追加するなどの検討を行い、実施率を高めていく。					

基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
3-1	大腸がん検診受診率（国民健康保険被保険者）	12.1%	12.0%	12.7%	13.7%	15.0%	保健福祉センター
取組実績		今後の取組					
11	がん検診とセットで受診する体制とし、検体提出日を検診日以外にも設け、希望者へ検体容器を送付するなどの受診しやすい環境整備を行った。また、R3年度は対象者のうち、ターゲットを絞り受診勧奨圧着ハガキで個別の受診勧奨を実施した。		新型コロナウイルスの感染防止対策や受診しやすい環境を整備し、ターゲットをしぼった個別の受診勧奨を実施し、受診率の向上に取り組んでいく。				
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
3-1	乳がん検診受診率（国民健康保険被保険者）	10.2%	12.6%	11.0%	7.0%	17.0%	保健福祉センター
取組実績		今後の取組					
12	個別医療機関検診は年間を通して受診できる体制を整え、集団検診としてはレディース検診（子宮がん・乳がん同日で検診）を実施し、受診しやすい環境を整備している。また、前年度受診歴のある方へ受診券の送付や40歳の方への無料受診券の発行を行った。		新型コロナウイルス感染防止対策や受診しやすい環境を整備し、ターゲットをしぼった個別の受診勧奨を実施し、受診率の向上に取り組んでいく。				
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
3-1	全乳幼児健康診査の受診率	93.9%	98.7%	94.4%	97.7%	97.2%	保健福祉センター
取組実績		今後の取組					
13	子育ての切れ目ない支援の一環として乳幼児健診を実施している。受診率97.7%と昨年度より改善している。ただし、新型コロナ感染症の拡大により本人や家族が罹患したケースや感染への心配から、受診を見合わせるケースがあった。未受診者に対しては、他の乳幼児健診で受診できるよう工夫するなど受診機会の確保をしている。さらに電話や訪問により現状を把握し、関連する課とも協力している。		今後も健診を主として、未受診者に対しては、あらゆる場所や関連団体の協力を得ながら、切れ目ない支援のために、対象者にとって必要な支援を提供できるよう実施していく。				
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
3-2	フリフリグッパ体操・シルバーリハビリ体操などボランティアの人数	237人	246人	250	246人	270人	保健福祉センター
取組実績		今後の取組					
14	ボランティア人数は、ほぼ同数で推移しているが、社会構造の変化から退職年齢も伸び、ボランティア開始年齢が高くなってきている状況にある。しかし、新型コロナウイルス感染対策のため活動休止しながら、運営に積極的に関わり、主体的な活動がなされている。		住民主体の地域介護予防活動を担うボランティアの育成を継続し、ボランティアの活動を支援し、現ボランティア数の確保を目標に育成、募集をしていく。				
基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
4-1	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を聞いたことがあり、内容も知っている住民の割合	31.3%	—	—	—	34.0%	政策企画課
取組実績		今後の取組					
15	男女共同参画コーナーにおいて、「家事役割分担」に関する情報の掲示やデジタルサイネージにて啓発を行った。また、広報紙においてもワーク・ライフ・バランスに関する記事の掲載を行った。 (住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定)		ワーク・ライフ・バランスの実現に、広報紙や町公式ホームページでの発信、男女共同参画週間イベントや男女共同参画コーナーを利用して啓発活動に取り組んでいく。				

	基本目標	指 標	H30基準	R1実績	R2実績	R3実績	R6目標	担当課
16	4-1	「仕事」と「家庭生活」又は「地域・個人の生活」を両立しているとした住民の割合	17.9%	—	—	—	20.0%	政策企画課
	取組実績			今後の取組				
	厚労省等より発行された働き方改革関連情報のポスター、パンフレットを活用して、個々のライフスタイルに合わせて働き方の選択を可能にするなど、町民や事業者に対して啓発を行った。 (住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定)			国や県からの情報収集に努めるとともに、町民や事業者に対して、ライフスタイルに合わせて、多様な働き方が認められ、働きやすい職場づくりが実現できるよう意識啓発に取り組んでいく。				
17	4-1	職場で男女の地位が平等になっていると思う住民の割合	17.7%	—	—	—	20.1%	政策企画課
	取組実績			今後の取組				
	男女平等な職場環境づくりへの取り組みについて、事業所に対してポスター等で意識啓発に努めた。 (住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定)			事業者に対して、継続してポスターやチラシを通じて男女平等な職場環境づくりに向けた意識啓発に取り組んでいく。				
18	4-2	保育所待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	子育て支援課
	取組実績			今後の取組				
	町内においては、利用定員を超える希望があった場合には、各園において、随時、受け入れ態勢を整えていただいているので、待機児童は発生していない。			今後も同様の取り組みにより、待機児童が発生しないように対応していく。				
19	4-2	放課後児童クラブ待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	子育て支援課
	取組実績			今後の取組				
	特に利用児童数が増える長期休暇中においても、事前に利用児童数を把握し、学校の教室を借用するなど調整する事により、各小学校で待機児童が発生することなく運営ができた。			令和5年4月に小学校が統合されることから、利用児童数をしっかり把握し、各学校にバランスよく児童を振り分けし待機児童が発生しないよう調整していく。				
20	4-2	「家庭での子育ては共同して分担している」とした住民の割合	23.7%	—	—	—	25.6%	政策企画課
	取組実績			今後の取組				
	固定的な役割分担意識や男性の仕事優先の考え方の解消を図るため、広報紙等を通じて意識啓発に努めた。 (住民アンケートは次期計画策定時のR6に実施予定)			町民に向けた固定的な役割分担意識の意識改革と、子育て関連の情報の提供に努める。				